

どうなってるの? 税金の使われ方

3

くらしを作る～道路・水道・防災ほか

もくじ



国があつかうお金のしくみ 4

景気対策なども税金のやくわり 5



くらしの基礎を作る 6

道路や橋などを整備するための税金 8

河川を整備するための税金 10

上下水道を整備するための税金 12

公園を整備するための税金 14



港や空港を整備するための税金 16

鉄道を整備するための税金 18



町作りのための税金 20

農地を整備するための税金 22

廃棄物処理施設を整備するための税金 23

なにが問題なの? 公共事業 24

日本の食料を守るための税金 26

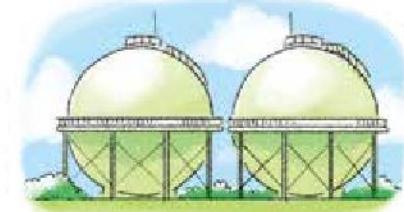
エネルギーを確保するための税金 28

地球環境保護のための税金 30

災害の復旧や復興のための税金 32

なにが問題なの? 復興予算 34

一般会計と特別会計 36



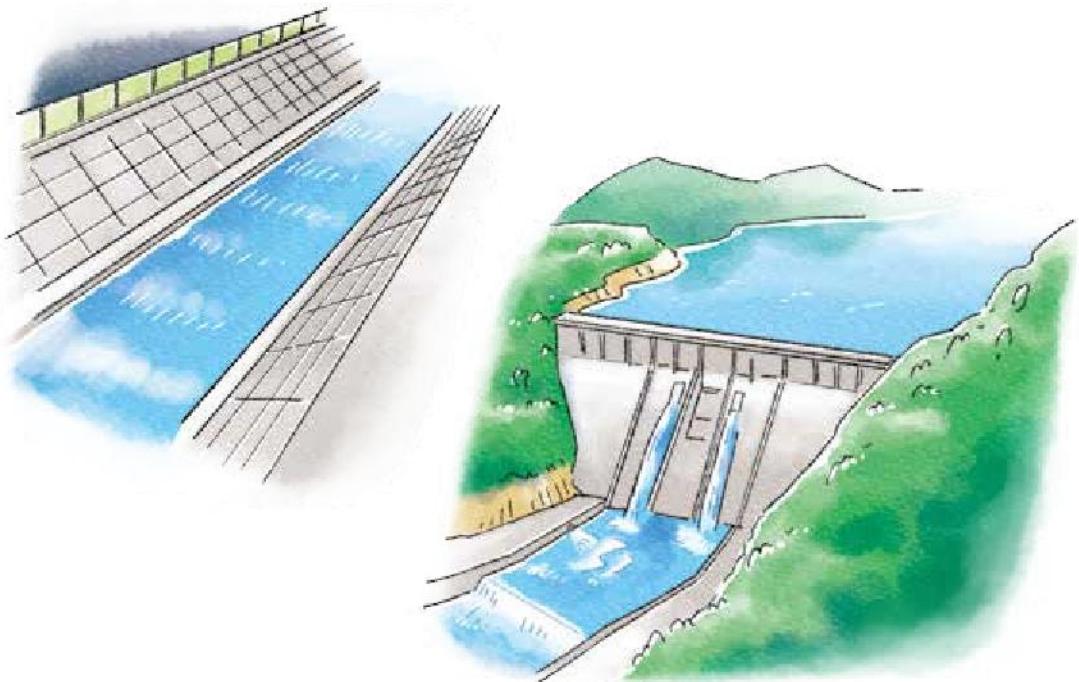
さくいん 38

●本書に掲載されている各種データは、原稿執筆時に入手したデータに基づいて作成されたもので、現状と一致しない場合があります。また、歳入と歳出に関する金額は、すべて一般会計当初予算です。

河川を 整備するための税金

河川の整備で大事なのは、「治水」です。治水とは、洪水の被害を防ぎ、農業用水などに使えるように河川を改良することです。

たとえば、台風などで大雨が降り、河川が増水すると、水があふれて氾濫したり、堤防が決壊したりする危険が増します。また、山で土砂くずれなどが起こると、川の上流に土砂が流れこんで水をせき止め、たまつ



た水が一気に下流に流れこむ土石流によっても、大きな被害をもたらします。

そのような被害を防ぐために、国や自治体は、堤防や護岸を整備して河川が氾濫するのを防いだり、ダムを作つて河川に流れこむ雨水の量を調整したり、雨水を地下にためてゆっくり河川や海に流す施設を作つたりしています。

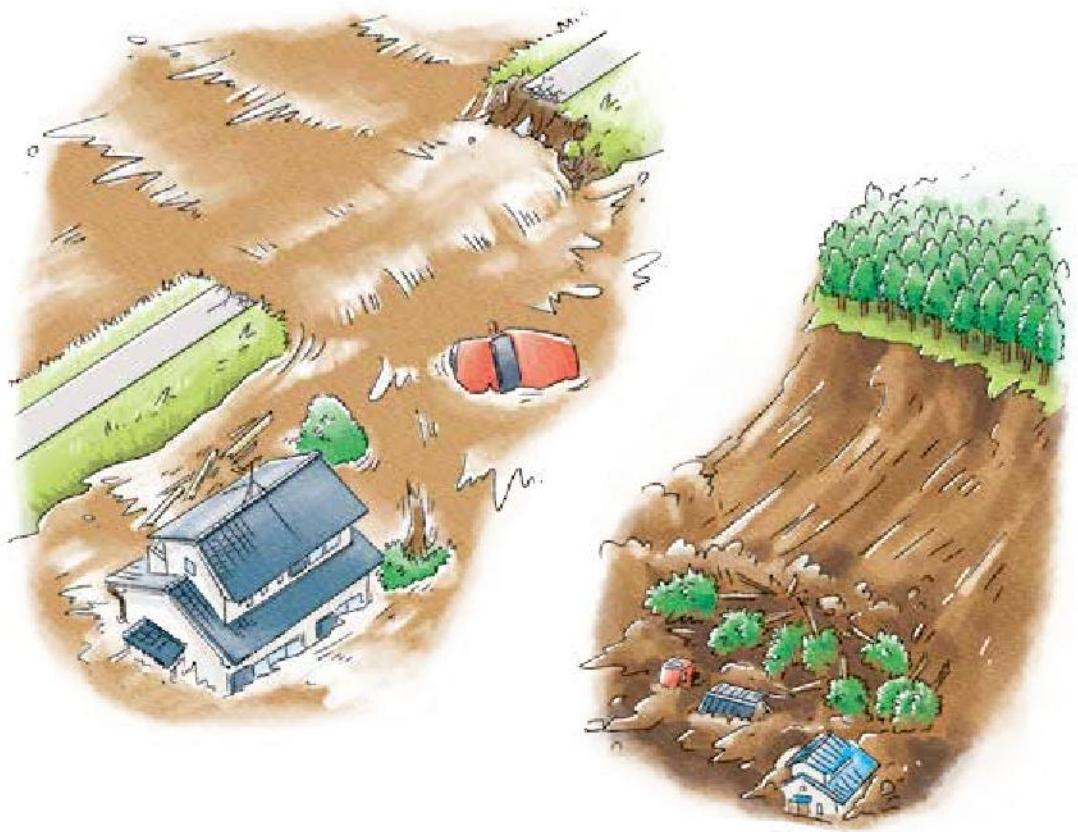
一方、土砂くずれなどの災害は、大雨のほか、山の森林を伐採したり、手入れをせずに荒れたままにしたりすることでも起こりやすくなります。そこで、植林や手入れをして森林を守る「治山」や、河川などに土砂が流れこまないようにする「砂防」などが行われます。

また、地震による津波や、台風による高波を防ぐために、海岸に防波堤を作つたりすることも大事な防災対策です。

このような治水、治山、砂防、津

波・高波対策といった事業に使われる国の税金が、「治山治水対策事業費」で、2018年度予算によると8,449億円となっています。

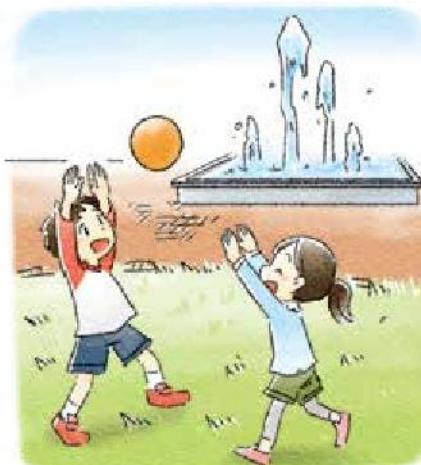
これまで、治水には多くの税金が投入され、堤防などが整備されてきましたが、2019年の台風19号では、多くの場所で河川の氾濫や堤防の決壊が起こりました。近年、これまでの常識では考えられないほどの大雨が降るなどの現象が起つておつり、新たな治水対策が求められています。



公園を 整備するための税金

町に出れば、いろいろな場所で公園を見かけます。ひと口で公園といっても、子どもの遊具がたくさんおいてあるところもあれば、緑におおわれた自然あふれるところ、イベント会場として使われる広場など、さまざまな種類があります。

日本には、町の中に人工的に作られた都市公園と、自然のなかで環境保護を目的に整備された自然公園などがあります。そのなかで、国が土地を所有して管理する都市公園を「国営公園」といい、維持管理には入園料や国税などが使われます。



一方、国が指定・保護する自然公園を「国立公園」といいますが、国が土地を所有・管理するのは一部だけです。また、都道府県の要望で国が指定する自然公園を「国定公園」とい、都道府県が管理します。

2019年3月現在、全国に国営公園が17カ所、国立公園が34カ所、国定公園が56カ所あります。これら以外にも、都道府県が管理する都道府県立自然公園や都市公園、民間企業や団体、個人が管理する公園や広場もあります。

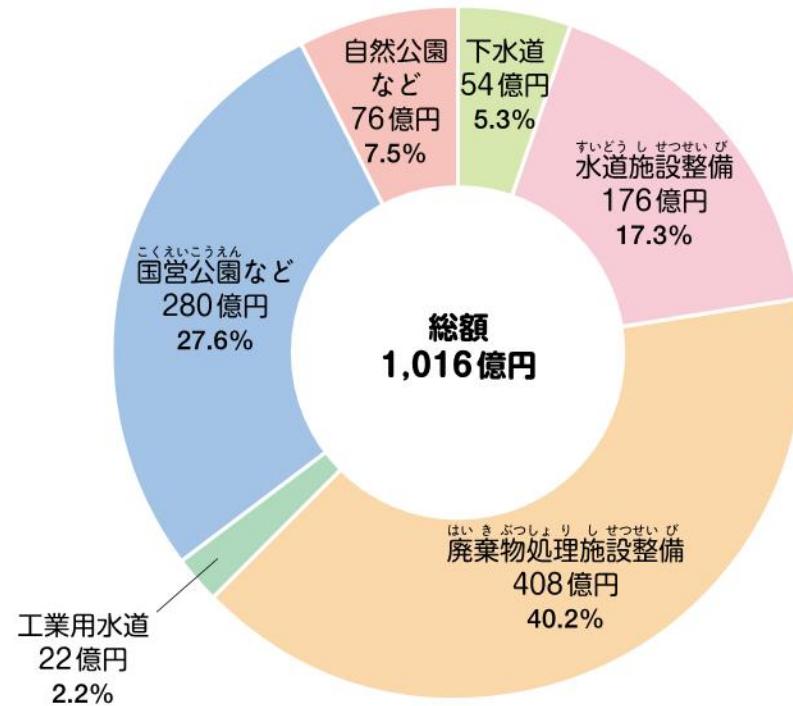
国税に限れば、2018年度予算によると、国営公園の整備や維持管理などの費用が280億円、自然公園などに76億円となっています。民間企業や団体、個人が整備した公園であっても、一部で国や自治体の補助金が使われている例もあります。

また、国や自治体が整備した公園のなかには、民間企業などに管理・運営をまかせているところもあります。そのような公園のなかには、民間の力をいかして、子どもたちがよ

ろこぶ遊具やおしゃれなカフェなどを設けて、たくさんの人でぎわっているところもあります。

一方で、手入れがいきとどかず、雑草だらけで人もまばらという公園も少なくありません。公園には、自然とふれあったり、心身を休めたりという機能のほかに、地域の防災の拠点や避難場所という機能もあります。同じ税金を使うのであれば、効果的な活用法を考えいかなければならぬでしょう。

公園水道廃棄物処理等施設整備費（6ページ）の内訳（2018年度）



出典：財務省ホームページ
「平成30年度予算及び財政投融資計画の説明」